

池の平ホテル&リゾーツの取り組みと姿勢

～当地に根ざした生業を持続していく為に～

開拓により拓かれた白樺高原と、 標高1500メートルという自然環境での事業

弊社が所在する、ビーナスラインの中継地・白樺高原は、標高1500メートル前後の自然環境に恵まれた亜高山帯に位置します。元来このエリアは生活インフラが存在しない山間地で、戦前から戦後にかけて農業用のため池として造成された白樺湖も、山合に囲まれた沼地でした。ここに、戦後の食糧難を打開する施策として、大規模農法を実装するという使命を受け、開拓団の一員として派遣・入植したのが、弊社の創業者達です。電気もガスも水道も道も無い場所に、農業と酪農を成立させるための開墾・開拓を経て、生き抜く為の自然との共生そのものが生業でありました。

冷涼な夏から厳寒な冬に至る高原の四季は、農業や酪農を営むには厳しくする環境でしたが、一方でその気温差が育む四季折々の自然は、訪れる方の心を動かすものでした。夏の登山や冬のスケートを目的に当地を訪れる方をお迎えする中で、当地の自然環境を最大限活かす事業として、弊社は観光業を生業とする事になります。これが、弊社の原点です。標高1500メートルの高原という自然環境の中で生き抜く為に、観光という生業が必然だったからこそ、私どもは、自然環境と共に持続可能な方を模索し続けて参ります。

自然美と人工美の調和

開拓からの経緯の中で、大自然が育む環境の豊かさと過酷さを共に強く認識している私共は、ありのままの自然に手を入れさせて頂く中で、訪れる方に触れて頂きやすい自然環境の構築が重要だと考えています。元来の植生を維持しつつ、防風林や飼料となる牧野の維持といった社会機能としての自然を守り、併せて、人を招き入れる観光業の観点から、景観を楽しんで頂ける様な伐採や手入れを行い、当地の環境に合った樹種の植栽も進めて参りました。自然環境と経済性の共調の中にこそ、過酷で美しいロケーションを有する当地での持続可能な社会が成立すると考え、自然美と人工美の調和に務めて参りました。

更には、天然の自然が有するダイナミズムや魅力を少しでも分かりやすく、また身近に実感頂ける様、自然環境へのガイド役やゲート機能としての観光商品も造成し続けています。一年を通じて乾燥した空気が届ける満天の星空案内人や、四季折々

KPI具体的な数値目標一例



- 持続成長を基盤とした自然保護と利活用の共生としての、当地来訪者数
 - 自然体感型観光商品利用者数
 - ゴミの削減量
- 事業系ゴミ 微生物分解生ごみ処理機2台導入により令和元年度に対し令和5年度には60%の削減をめざします。
- プラゴミ 客室アメニティーの部屋セットを止め、フロントより必要な人だけが持っていく方式に変更し、令和元年度に対し令和5年度には客室アメニティーの使用量を30%削減をめざします。
- 段ボール 100%回収を目指しリサイクル業者に引き取ってもらいます。
- 缶・ビン類 100%回収を目指しリサイクル業者に引き取ってもらいます。
- 酸素排出量の削減
- 第1種指定工場として年間のエネルギー使用量を1%以上の削減を目指し、経済産業省に毎年提出しています。
- 省エネルギー法 中長期計画に基づき二酸化炭素排出量の削減に努めて参ります。



白樺リゾート 池の平ホテル

〒391-0392
長野県茅野市白樺湖
TEL.0266-68-2100 FAX.0267-55-6369
<http://hotel.ikenotaira-resort.co.jp>

アクセス
中央自動車道方面 諏訪南ICから約26キロ・約40分
関越自動車道方面 佐久 IC から約39キロ・約65分



池の平白樺高原ホテル

〒384-2309
長野県北佐久郡立科町芦田ハケ野 750
TEL.0267-55-6204 FAX.0267-55-6524
<http://kogen-ikenotaira-resort.co.jp>

アクセス
中央自動車道方面 諏訪南 IC から約32キロ・約50分
関越自動車道方面 佐久 IC から約33キロ・約55分

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



の風景を俯瞰的に体感頂ける
ドローンの事業もその一環で
す。観光事業者として、自然が持つ力をダイレクトにお伝えする役割の一端を担わせ
て頂く事で、自然への感動の機会を通じて我々人類が自然と共生していく事の価値
を共有する一助となればと考えています。

エネルギーインフラの省力化と自前化

開拓以来、各生活インフラが無い環境の中で生活基盤を自前で整備してきた為、
必要なエネルギーをいかに抑え、且つ、エリア内で循環していくかという命題と向
き合い続けています。蓼科山の豊かな伏流水を水源とする専用水道を自社管理し、お
客様へご提供している他、厳寒な冬季でも可能な限り石油燃料や電力の利用を控
えられる様な省エネ仕様の建築物や設備への更新を随時進めています。

環境への配慮

もともと社会生活が無かった地域で生業を営む以上、ゴミの排出を極力少なくす
る努力が必要だと考えています。40年以上前、環境に対しての知識・知見が乏し
かった頃は、当地内でのごみの焼却処理を企業努力と捉えていた時代もあったほ
ど、エリア外への排出を減らす事が自然環境に於いても経済的にも必要だと捉えて
おりました。現在は、生ごみの処理施設等を設け、循環可能なゴミをエリア内で消化
する取組を進めると共に、排出ゴミとなる事業ゴミの削減に向け、業務用段ボール
の再利用を協力企業様の御協力を頂き、お客様にご提供する商品をエコ包装商品
に暫時切り替えていく等の取組も、お客様の御理解を賜りながら今後進めて参り
ます。

変化する生態系との共生

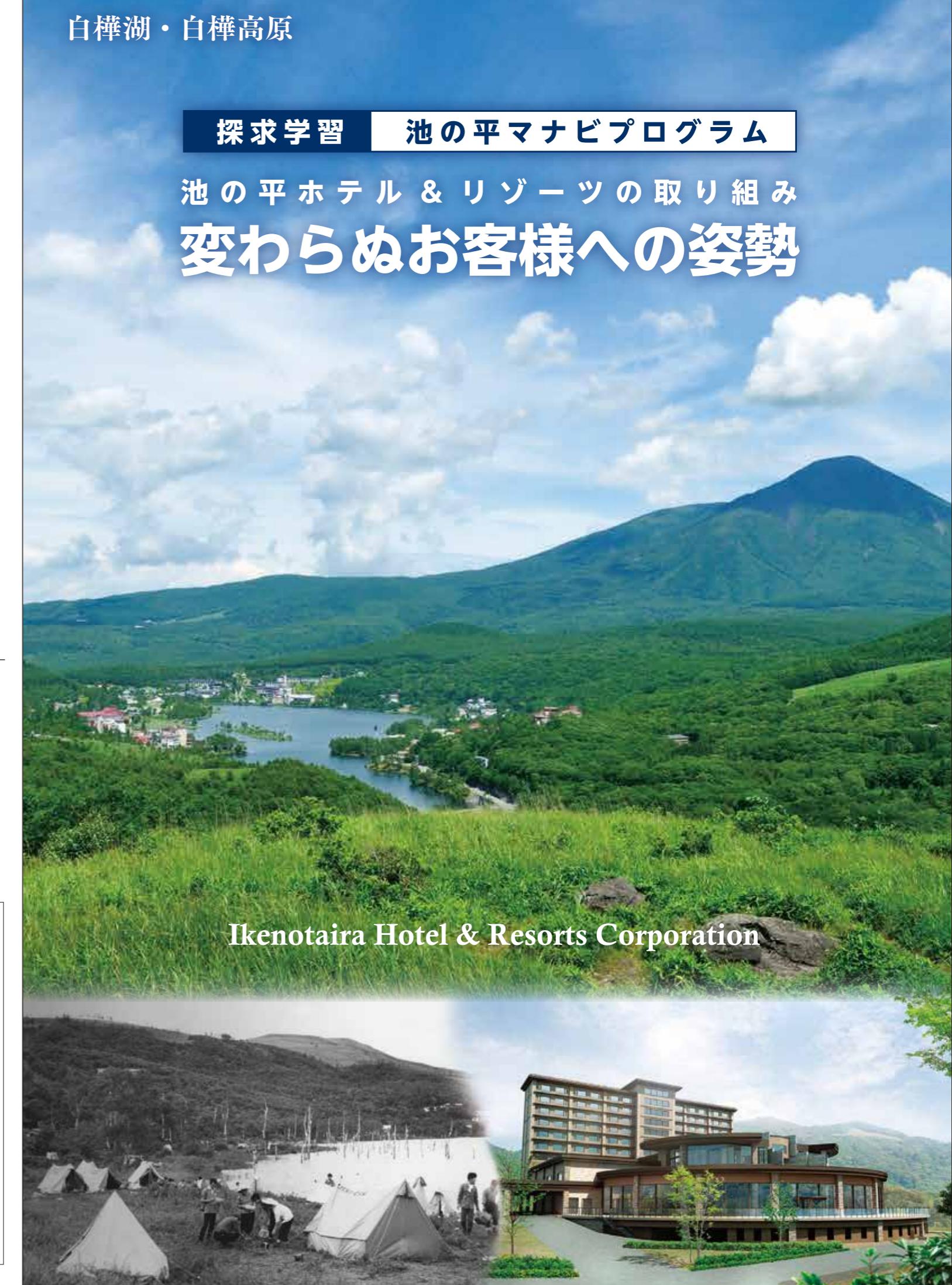
高山帯と亜高山帯の境界地にある白樺高原には、同時に太平洋と日本海へそれ
ぞれ繋がる分水嶺が縱断しています。大きな気候変動に伴て植生が変わり得る立
地環境の中、分水嶺からの純水が作りだす生態系は、準絶滅危惧種であるアザ
群生が自生するミニレマン湖や、白樺湖畔の湿生花園で、その特性を見る事が出来
ます。

白樺湖・白樺高原

探求学習

池の平マナビプログラム

池の平ホテル & リゾーツの取り組み 変わらぬお客様への姿勢



Ikenotaira Hotel & Resorts Corporation



ドローン技術で水中観察、空からも観察

「山・川・海のつながりの大切さ」を考える



①事前のマナビ

- あなたの家の水道水はどこから来ているのか調べてみよう。
- 「水」と聞いたら何を連想しますか？みんなで話してみよう。

ダイバーになって水中へ行こう！

水中ドローンSDGs



①事前のマナビ

- 出身地やお住まいの近くの水質や濁り等を調べてみよう。
- 近くに溜まっている、流れている水の役割を調べよう。
- 近くの海や池・川のゴミの状況を調べてみよう。

水中ドローンSDGs+チームビルディング



①事前のマナビ

- 出身地やお住まいの近くの水質や濁り等を調べてみよう。
- チーム活動の役割や必要性を考えてみよう。

木曽馬引き馬体験、ブラッシング体験を通して「生物多様性」や「暮らしの豊かさ」を考える



①事前のマナビ

- 木曽馬の歴史学習。木曽馬がどのような経緯で絶滅に瀕してしまったのか、人の生活、日本の歴史と照らし合わせてイメージしてみよう。

②旅先のマナビ

- 木曽馬保存会講師から木曽馬に関する話を聞き、実際に木曽馬とふれあおう。

③マナビの持続

- 木曽馬の悲劇を繰り返さないよう、様々な野生動物や絶滅に瀕している動物を守るために、未来に向かってできる事を考えてみよう。

プログラムの流れ

- ①白樺湖の「水」学習
- ②水中ドローンで水の中を観察しよう
- ③ドローンで空から山を森林も見てみよう
- ④どんなつながりを感じたか意見交換しよう



実施可能期間	通年
所要時間	2.5~3時間
対象	小・中・高校生
対応可能人数	約40名まで

蓼科山登山学習を通して

「自然との共生」「動植物との共存」を考える



プログラムの流れ

- ①蓼科山登山口(7合目)ガイドより概要説明
- ②山頂を目指しながら動物の痕跡を探す
- ③将軍平で休憩しながらガイドさんと質問攻め!
- ④山頂からの眺望を見ながら、人と自然の関係性を意見交換
- ⑤足元に気をつけて元気に下山



プログラムの流れ

- ①蓼科山登山口(7合目)ガイドより概要説明
- ②山頂を目指しながら動物の痕跡を探す
- ③将軍平で休憩しながらガイドさんと質問攻め!
- ④山頂からの眺望を見ながら、人と自然の関係性を意見交換
- ⑤足元に気をつけて元気に下山

実施可能期間	6月中旬~9月下旬
所要時間	5時間半
対象	小・中・高校生
対応可能人数	40名まで

ダイバーになって水中へ行こう！

水中ドローンSDGs



①事前のマナビ

- 出身地やお住まいの近くの水質や濁り等を調べてみよう。
- 近くに溜まっている、流れている水の役割を調べよう。
- 近くの海や池・川のゴミの状況を調べてみよう。

水中ドローンSDGs+チームビルディング



①事前のマナビ

- 出身地やお住まいの近くの水質や濁り等を調べてみよう。
- チーム活動の役割や必要性を考えてみよう。

木曽馬引き馬体験、ブラッシング体験を通して「生物多様性」や「暮らしの豊かさ」を考える



①事前のマナビ

- 木曽馬の歴史学習。木曽馬がどのような経緯で絶滅に瀕してしまったのか、人の生活、日本の歴史と照らし合わせてイメージしてみよう。

②旅先のマナビ

- 木曽馬保存会講師から木曽馬に関する話を聞き、実際に木曽馬とふれあおう。

③マナビの持続

- 木曽馬の悲劇を繰り返さないよう、様々な野生動物や絶滅に瀕している動物を守るために、未来に向かってできる事を考えてみよう。

プログラムの流れ

- ①導入・プログラム説明等
- ②操作説明
- ③プログラムタイム
- ④質疑応答・ご案内



実施可能期間	通年
所要時間	2~2.5時間
対象	小・中・高校生
対応可能人数	約40名まで

「星空レンジャー」が満点に輝く白樺高原の夜空をご案内 ほしざらSDGs



プログラム概要

本来地球の夜の姿は暗い中無数の星空の世界が…
そんな星へ光が与える影響はビルなどが多い方でも明るい程です。
そんな世界中の間にとって必要不可欠となった多くの光の影響で見られる星がどんどん少なくなっています。ほしざらツアープログラムはそれら光を生み出す電気等の影響を白樺高原で見る星の世界を知っていただきつつ考えていただくプログラムです。

プログラムの流れ

- ①星空ツアーに参加し、星の魅力や光の影響を感じよう
- ②光の影響や植物の役割等を星空ガイドから学んでみよう
- ③気づいた事をまとめよう

実施可能期間	通年
所要時間	約1時間
対象	小・中・高校生
対応可能人数	200名まで

①事前のマナビ

- 事前学習のヒントとして、光が与える影響、自然環境における植物の役割を考えよう。

*オプション素材(別途有料)
マナビ探求シートの作成・提案

②旅先のマナビ

- 現地で、本来見える星の世界を体験しよう。星座や神話等から星を知ろう。
- ツアーで集めた情報をアウトプットできるよう細かいことも記録しておこう。

③マナビの持続

- 現地体験を振り返り、得た情報を整理してアウトプット。他の人の情報もインプット。
- 他の地域や季節でも星を眺めてみよう。
- 光や空気による星の違いを知ろう。

実施可能期間	通年
所要時間	約1時間
対象	小・中・高校生
対応可能人数	200名まで

間伐材を有効活用、間伐材から薪を作ることで 「豊かな森」と「豊かな生活」のつながりを考える



プログラム概要

池の平ホテル&リゾーツは大自然からの恵みを享受しながら成長しております。大自然からの恩恵に恩返しするために敷地内の森林を整備することで水源地である責任を全うしております。森林整備、特に間伐をしていくことは陸の豊かさを守るために大切な作業です。例えば樹木が混み入っている森林は太陽の光が地面まで届きません。太陽の光が届かない地面に草が生えず、土が流れ出して土砂災害を引き起こしてしまいます。間伐をする理由には様々なものがあります。陸の豊かさを守り、きれいな水を届けるために森林整備を継続的に実施しております。間伐材を有効利用することは、結果として豊かな生活の創造や豊かな心の育成にもつながります。

プログラムの流れ

- ①間伐材を丸太にしよう
- ②丸太を割って薪を作ろう
- ③薪を使って飯ごう炊さん（お米を炊いてカレーを作ろう !!）
- ④意見交換/感想

実施可能期間	4月中旬~11月中旬
所要時間	3時間~
対象	小・中・高校生
対応可能人数	80名まで

健康いきいき診断プログラム 自分自身の健康習慣について考える! 健康スキルアップ



①事前のマナビ

- 普段食べている食事を書き出して、栄養バランスについて調べてみよう。

*オプション素材(別途有料)
マナビ探求シートの作成・提案
健康運動指導士の出張講座・講義

②旅先のマナビ

- ICチップ入りの食品サンプルを使って栄養バランスチェックを体験しよう。

*オプション素材(別途有料)
マナビ探求シートの作成・提案
健康運動指導士の出張講座・講義

③マナビの持続

- 現地体験を振り返り、マナビを整理してアウトプット、他の人の、マナビもインプットしよう。

○自身の家族へマナビを伝えよう。
○シニアクラブや施設でマナビを伝えよう。

実施可能期間	通年
所要時間	2~3時間
対象	小・中・高校生
対応可能人数	要相談